

陳 情 文 書 表

受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名	陳情第235号（8.10.5） 桜の宮中学校統合計画の今後に関する陳情
陳 情 の 要 旨	1. 桜の宮中学校の統合について、教育環境・通学安全・子供達の 心理的負担など学校生活を不安なく安心して過ごせるよう、子供達 のことを最優先に考えてこれからも最大限の努力をすること。
陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市北区 西山 佑治 ほか1名
送 付 委 員 会	教育こども委員会

神戸市会議長
よこはた 和幸 様

陳情者

保護者有志の会

住所 神戸市北区

代表 氏名 西山 佑治

住所 神戸市北区

氏名 高木 雅之

桜の宮中学校統合計画の今後に関する陳情

【陳情趣旨】

私たちは、桜の宮中学校の統合計画について、認めることはできません。

今年の5月に教育委員会より中学校統合の保護者説明会が開催され、これから保護者の意見を反映しつつ、計画を検討していくと説明を受けました。しかし、一方では秋までには方針を決定したいとの意向を示しており、限られた時間で十分な意見交換ができるか不安を感じました。

同年の7月に2回目の保護者説明会も開催されましたが、保護者から多くの疑問・不安の声があがりましたが、「今後、検討して回答する」との説明が多く、通学安全・教育環境・人間関係・子ども達の心のケアなど十分に納得して安心できる説明がなされたとは考えられません。

5月の説明会のあと、危機感から保護者有志の会を立ち上げ、地域の自治会を通じて、保護者・地域住民対象に統合に関するアンケートを行いました。

その結果、統合に反対する意見が半数以上を占めたほか、「説明が不十分である」や市の進め方に「不信感がある」といった声も多く寄せられました。

これは、単純に反対しているということではなく、地域を愛する保護者・地域住民が統合の必要性や効果、子ども達への影響など十分な説明と検証がなされていないまま計画が進められているのではないかという不安と疑問の表れだと考えています。

アンケートの結果、保護者・地域の声をそのままに自由記述の全文も教育委員会に提出させて頂いてます。

このような状況の中、同年9月1日に教育委員会より統合決定の通知がされました。5月・7月の説明会とも「検討中であり、保護者の意見を十分に聞いて検討する」とされていたにもかかわらず決定したことに私たちは強い疑問を感じます。

しかし、本陳情は、教育委員会を批判することが目的ではなく、子ども達が安心して学び成長できる教育環境を守るために、今後も疑問・不安を改めて受け止めて頂き、これまでの資料や説明に事実と異なる点や誤解を招く表現があれば訂正して頂き、これからも保護者・地域住民とこれからも真摯に向き合って、子ども達にとって最善の判断をして頂くことを求めます。

【陳情事項】

1. 桜の宮中学校の統合について、教育環境・通学安全・子ども達の心理的負担や学校生活を不安なく安心して過ごせるよう、子ども達のことを最優先に考えてこれからも最大限の努力をしていただきたい。